



# 城南だより



令和8年2月27日  
東京都立城南特別支援学校長  
濱野 建児

## <御卒業おめでとうございます>

校長 濱野 建児

第57回小・中卒業式、第54回高等部卒業式を迎える卒業生の皆さん、卒業おめでとうございます。

今年は小・中学部16名、高等部12名、合わせて28名がそれぞれの学部を巣立っていきます。皆さんの成長を見守ってきた御家族や教職員等にとって、その姿はこの上ない喜びです。

令和8年にイタリアで開催されたミラノ・コルティナ2026冬季オリンピックでは、日本代表が合計24個のメダル（金5・銀7・銅12）を獲得し、大きな感動を与えてくれました。

スノーボード選手が金メダルに輝き、チーム全員で喜びを爆発させた姿が印象的でした。また、スピードスケート選手は粘りの走りで銅メダルをつかみ、挑み続ける姿勢の尊さを示してくれました。続いて3月には、同じイタリアでミラノ・コルティナ2026冬季パラリンピックが開催されます（3月6日～15日）。この大会には6競技79種目が設定され、世界中からパラアスリートが集い、熱戦が繰り広げられます。特に注目されているのは、日本選手が出場するパラアルペンスキー、パラスノーボード、車いすカーリング、パラアイスホッケーなどです。パラアイスホッケーでは、アスリートが「翼が生えたような感覚を得た」と語るほど、スポーツが人生の力となっていることが報じられています。自分自身の可能性を信じて挑戦し続けるパラアスリートの姿は、私たちに「どんな状況でも前に進める」という強いメッセージを届けてくれます。アスリートたちは、長い時間をかけて準備し、何度も失敗を乗り越え、それでも挑戦し続けてきました。

卒業生の皆さんのこれまでの学びも同じです。日々の積み重ね、仲間との支え合い、諦めずに取り組む姿勢そのすべてがメダリストに値する成長でした。これからの道のりにも、きっと新しい挑戦が待っています。困難に向き合うとき、どうか今日まで頑張ってきた自分を信じてください。そして、皆さんを支えてくれる人たちへの感謝を胸に、未来へ力強く一步を踏み出してください。皆さんのこれからの人生が、輝きに満ちたものとなるよう心より願っています。

## <学校運営連絡協議会>

2月に今年度の学校経営計画の進捗状況を御確認いただき、委員の皆様から校長提言がありました。以下は、内容のポイントと次年度に向けた方針です。提言内容を次年度の学校経営計画に反映させ、一層の改善を図り教育内容の向上を図ってまいります。今後とも保護者・地域関係者の皆様と連携し、より良い教育を進めてまいります。御理解と御協力のほど、よろしくお願いいたします。

提言内容のポイント	次年度に向けた方針
健康管理の充実・個に応じた指導・人権配慮	健康観察と情報共有の強化、個別最適な学びの推進、人権配慮の徹底
ICT活用の組織的推進・外部知見の還元・研修充実	ICT授業モデルの活用、外部専門員と連携した児童・生徒の個別ニーズ対応、校内研修強化
教職員研修の充実・保護者と連携した進路情報提供	体系的なキャリア教育の充実、保護者等と連携した進路情報提供の強化
多様な災害に備えた避難訓練・安全対策の徹底	多様な災害を想定した訓練の実施、地域連携の充実、安全点検の継続と改善